

無石綿

NSボンドセメント

セメント系モルタル接着材

NSボンドセメントは、塗装合板型枠等を使用した平滑なコンクリート面にモルタルを塗り継ぐ際の接着材として開発されたプレミックスモルタルで、優れた接着性を有しています。また、押出成形セメント板・ALCパネル等様々な下地への接着性にも優れています。

特長

- 接着耐久性・耐ひび割れ性に優れています。
- 接着性が優れているため、各種下地に適用できます。

標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地*1	適用仕上げ	標準調合	塗厚	標準施工面積
25kg/袋	内・外壁、 内・外床	コンクリート、モルタル、 ブロック、ALCパネル、 押出成形セメント板	モルタル、 陶磁器質タイル	HF-1000*2 1kg 清水 約5ℓ	1.5~2mm	約8m ² (2mm厚)

注)*1：下地がALCパネル・押出成形セメント板・合板・陶磁器質タイルの場合は、お問い合わせください。

*2：NSハイフレックス HF-1000

上記標準仕様以外の施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

練りませ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練りませ時間は3分を確保してください。
水振りをしたのこて押えは、モルタルの表面強度を低下させる要因となりますので、NSハイフレックスHF-1000の3~4倍液を散布してください。

性能

試験項目		試験結果	試験方法
保水率(%)	2分	99.3	JIS A 6909
	10分	98.1	
曲げ強さ(N/mm ²)		8.4	JIS A 6203
圧縮強さ(N/mm ²)		34.9	
長さ変化率(%)		0.08	
吸水率(%)		7.9	JIS A 1404
透水量(g)		3	
付着強さ (N/mm ²)	標準養生後	1.5	JIS A 6916
	温冷繰り返し	1.7	
モルタルを塗り継いだ場合の 付着強さ(N/mm ²)		1.8 (モルタル凝集破断)	ボンドセメント塗り付け後、追かけて 1：2モルタルを塗り付け

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)中央研究所

施工法(壁面)

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。

*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

下地処理 (吸水調整材塗布)

乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

*ブロック等下地の動きが想定される場合は、適切なひび割れ抑制措置が必要です。

練混ぜ

NSボンドセメント25kgに対し、所定量のNSハイフレックスHF-1000を混入し適量の水を加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等で十分に練り混ぜてください。

*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けてください。NSボンドセメント塗り付け後、直ちに中塗モルタルを塗り付けてください。

*接着力低下の原因となりますので、NSボンドセメント塗り付け後、追かけて中塗モルタルを塗り付けることを厳守してください。中塗モルタル塗付けまでの工程間隔は、15分以内が目安です。

*追かけ塗りができない場合は、2日以上5日以内にポリマーセメントモルタルを塗り継ぎようにしてください。夏季の施工において、風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。

*浮きや割れの原因となりますので、標準仕様の塗厚を厳守してください。また、中塗モルタルの塗厚は6mm以内としてください。

養生

中塗モルタル塗り付け後、通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛けなどの養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛けなどの養生をおこなってください。

*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。

*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので、塗り付け後仕上げまでの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。

施工法(床面)

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、真空掃除機等で清浄してください。

*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

下地処理 (吸水調整材塗布)

NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

練混ぜ

NSボンドセメント25kgに対し、所定量のNSハイフレックスHF-1000を混入し適量の水を加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等で十分に練り混ぜてください。

*ドライアウトの原因となりますので、所定量のHF-1000を必ず混入してください。

*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けてください。

*浮き割れの原因となりますので、標準仕様の塗厚を厳守してください。

モルタルの打設

NSボンドセメントを塗り付け後、直ちにモルタルを所定厚に打設してください。

*接着力低下の原因となりますので、NSボンドセメント塗り付け後、追かけて中塗モルタルを塗り付けることを厳守してください。中塗モルタル塗付けまでの工程間隔は、15分以内が目安です。

*追かけ塗りができない場合は、2日以上5日以内にポリマーセメントモルタルを塗り継いでください。

養生

モルタル打設後、通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛けなどの養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛けなどの養生をおこなってください。

*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。

*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので、塗り付け後仕上げまでの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0710019
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル ☎ 0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。